

## 第三段階 初期ユダヤ教宣教

### E. イエスはサマリアで弟子を作る

#### 5. イエスは弟子たちに伝道の訓練を施す

ディリージーザスニュース #047

ヨハネ4.27-38

27 ちょうどそのとき、弟子たちが戻って来て、イエスが女と話しておられるのを見て驚いていた。しかし、だれも「何を求めているのですか」とか「なぜ彼女と話しておられるのですか」とは尋ねなかつた。

28 それから、女は水がめを残して町に戻り、人々に言った、29 「さあ、あなたがたは、わたしのしたことをすべて言い当てた人に会いに来なければなりません。この人がキリストではないでしょうか。」30 彼らは町から出て来て、イエスのほうへ向かつた。

31 その間、弟子たちはイエスに、「ラビ、何か食べてください」と勧めた。

32 しかしイエスは彼らに言わされた。「わたしは、あなたがたが知らない食物をいつも食べている。」

33 すると弟子たちは互いに言った。「だれかが彼に食べ物を持って来たのかもしれない。」

34 イエスはこう言われました。「わたしの食物とは、わたしを遣わした方の御心を行い、その御業を成し遂げることである。」

35 「あなたたちには、『収穫までにまだ四ヶ月ある』という諺があるではないか。わたしはあなたたちに命じる。目を開いて畠を見なさい。収穫を待っている。」

36 「今でも、刈り取る者は報酬を得て、永遠の命に至る収穫を得ます。種を蒔く者と刈る者が共に喜ぶためです。37 『ひとりが種を蒔けば、ほかの人が刈り取る』という言葉は、まさにそのとおりです。38 わたしは、あなたがたが苦労して得たものを刈り取るために、あなたがたを遣わしました。ほかの人たちが苦労して働き、あなたがたはその働きの成果を刈り取つたのです。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ =<sup>MT</sup>、マーク =<sup>M</sup>、ルーク =<sup>L</sup>、ジョン =<sup>J</sup>、使徒行伝 =<sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、イエスの言葉は赤の斜体で表記されています。旧約聖書からの引用は大文字で表記されています。

### 第三段階 初期ユダヤ教宣教

#### コンテキストダイジェスト

位置	サマリアのシカル
タイムライン	西暦8月30日（第7月）
イエスの生涯	ステージ III: 初期ユダヤ教宣教
	E. イエスはサマリアで弟子を作る
タイトル	5. イエスは弟子たちに伝道の訓練を施す

コメント：

ジョンは、この朗読の物語の冒頭で、大きな意味を持つ小さな観察をしています。

「それでその女は水がめを置いて行きました…」

なぜこの些細な詳細がヨハネにとって物語に盛り込まれるほど重要なのでしょうか。イエスが彼女に「生ける水」を飲むことを約束されたことを思い出してください(4.14)。その水は井戸となり、次に泉となり、次には複数の川の源となり、あらゆる方向に流れるほどの勢いのある湧き出る泉となります。彼女はその水を飲むことを求めたのです。(4.15) この言葉は、彼女がイエスからすでに「生ける水」を受け取っていたので、もはや水がめは必要なかったことをヨハネ。が私たちに示している方法です

(イエスは数分後に、弟子たちに、彼らの知らない「食べ物」があると告げ、父の御心を行うために聖霊の力によって強くなるという「霊的な食べ物」について言及し、物質的な食べ物に関しても同じことを述べています。霊的な充足は物質的な必要を克服します。)

水がめを置いていったことは、イエスを知ることによってこの女性に起こった変化を示しています。これは、イエスの恵みが私たちを変える方法を思い出させる素晴らしい例です。まず、イエスは私たちに無償の贈り物として、ご自身の豊かさを与えてくださいます。次に、イエスの恵みは私たちの心を満たし、私たちが手放したものもう欲しがったり必要としたりしなくなります。イエスは私たちの人生から罪を取り除き、私たちが手放したものよりもはるかに優れたもの(イエス自身)を与えることによって私たちを変えてくださいます。

イエスの教えによれば、霊的変容は、単に否定的なことを禁じることによってではなく、イエスが私たちに与えてくださる肯定的な影響によってもたらされるのです。

の例から、証人としての奉仕について重要な教訓が2つ得られます。まず、証人は大胆な態度から始まることがわかります。女性は男性たちのところへ行って話しました。女性と男性は普通、公の場で話すことはなかつたことを思い出してください。もし話すとしたら、イエスが4.7で行ったように、男性が会話を始めました。(イエスの時代のこの文化的規範の表現については、ヨハネ4.9と4.27を参照してください。)

### 第三段階 初期ユダヤ教宣教

彼女が公の場で町の男性たちに証言を語ったという事実は、この女性の大胆さを示しています。彼女にとって、イエスにおいて経験したことの重要性は、特に「淫らな女」である彼女の特別な立場において、少し恥ずかしいことをすることによる個人的な不便さよりもはるかに重要でした。大胆さは、主イエスの恵みが私たちに注がれることによって、主イエスの偉大さと栄光を経験することから自然に生じる副産物です。

第二に、その女性はヨハネの福音書にあるイエス自身の最初の証しの約束を繰り返しました。「来て、見なさい...」ヨハネ1:39 ピリオドは1:46でナタナエルに同じ証しの招待を繰り返しました。そしてヨハネは3:2でニコデモが夜にイエスに会いに「来た」と私たちに伝えました。

「イエス様に会いに来てください」という招きは、証しの核心です。私たちは、自分自身の個人的な経験でイエス様について見聞きしたことに基づいて、他の人々にイエス様を見る機会を提供します。それが、証しをとても簡単にし、大胆さを可能にするのです。そして、この種の証しは、シカルの町の女性にとってそうであったように、信じられないほど力強いのです。

証しとは、聖書やキリスト教についてすべてを人々に伝えることではありません。証しとは、単にイエスに関する私たち自身の個人的な体験を語ることです。イエスを信じて救いを受けた人は、同じ知識を他の人に伝えるのに十分な知識を持っています。そして、信者はイエスが誰であるか、そしてイエスが何をするかについて救われるのに十分な知識を持っているので、他の人も救われるよう伝えるのに十分な知識を持っています。

私たち自身のイエスの経験、つまり私たちが個人的にイエスについて見たり聞いたりしたことの確信は、それを分かち合う勇気を与えるのに十分すぎるほどであり、また、私たちが証言する人々の救いを保証するのに十分な知識も与えてくれます。

今日の残りの朗読は、イエスがどのようにして弟子としての優先事項と靈的な収穫を得るために原則について弟子たちを訓練する機会をとらえたかを示しています。

イエスは、自らの模範を通して、常に弟子たちを訓練していました。これは、証しに関するイエスの弟子訓練の内容が言葉で書かれている、4つの福音書の中で数少ない箇所の1つです。これは、すべての弟子が学び、見習うべき、イエスの力強く重要な教えです。（この[リンクから、「イエスの教えによる」伝道における7つの教訓、およびイエスと共に収穫を得るための7つの原則にアクセスできます。](#)）[HYPERLINK "http://www.atjministries.org/?page\\_id=1295"](http://www.atjministries.org/?page_id=1295)

この弟子訓練のセクションの内容は、イエスと弟子たちの心と精神を隔てていた大きな隔たりを強調しています。弟子たちは、イエスがなぜサマリア人の女性に話しかけるのか理解できませんでした。イエスが救いのメッセージを無条件の愛ですべての人に伝えるという決意は、当時の弟子たちには理解不能でした。復活後、弟子たちがこの問題に関してイエスの心を完全に共有するまでには、何年もイエスに従い続けました。イエスと弟子たちの間には、実に深い隔たりがありました。ここでイエスの恵みについて考えてみましょう。

イエスはサマリアの女に恵みを惜しみなく与えたように、弟子たちにも恵みに恵みを重ねていきました。弟子たちがいたところから始め、忍耐強く、しかし絶えず自分の模範を示し、弟子たちがイエスに似た者へと成長できるよう具体的に教えました。この箇所でイエスが弟子たちに教え始めた教訓を弟子たちが本

### 第三段階 初期ユダヤ教宣教

当に学ぶまでには 10 年ほどかかりましたが、イエスは弟子たちを導いて、世界中のすべての人にメッセージを届けるというビジョンに従わせることを決してやめませんでした。何と究極の恵みと善良さでしょう。

応用：

私たちも、態度、優先順位、行動において、イエスからどれほどかけ離れているかになかなか気づかないことがあります。弟子になるには長い時間がかかるということを、イエスは最もよくご存知です。結局のところ、小さな種から何十年にもわたって成長し続ける桜の木を創造したのはイエスです。イエスは、私たちをイエスに似た者とするために、同じように辛抱強く私たちの人生に働いておられます。

私たちは、神の言葉に耳を傾け、福音書に書かれている神の模範に従い、信仰によって常に実践したいという願いを抱きながら、集中して取り組む必要があります。諦めることだけが、神が私たちに与えた目標の達成を妨げるものです。

あなたはイエスの教えや模範に従うことあきらめていませんか？イエスはあなたをあきらめてはいません。これからも決してあきらめません。あなたがすべきことは、イエスを呼び求めて立ち上がり、イエスの方向へ再び進むことです。イエスの恵みは、あなたを最後まで導くのに十分すぎるほどです。

あなたの態度や行動のどの部分をイエスに再び委ねる必要がありますか？いつそれをイエスに委ね、再び前進し始めるのでしょうか？